

POWER TO EXPAND TO THE FUTURE

67

株主の皆様へ

第67期 事業報告

平成24年12月1日 ✦ 平成25年11月30日



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<http://www.ooc.co.jp/> 証券コード 4187

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

C O N T E N T S

01	株主の皆様へ
03	メッセージ
05	TOPICS
06	株主アンケート結果のご報告
07	売上高の構成(連結)
08	事業フィールド
09	連結貸借対照表
10	連結損益計算書、連結包括利益計算書、 連結キャッシュフロー計算書、連結株主資本等変動計算書
11	個別貸借対照表
12	個別損益計算書、株主資本等変動計算書
13	会社概要
14	株式の状況
15	株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

当社第67期(平成24年12月1日から平成25年11月30日まで)の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当期の日本経済は、政府による経済・金融政策などを背景に、輸出の持ち直しや企業収益が改善する中で、景気は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、新興国経済の一部で成長に陰りが見えるなど、世界経済を巡る不確実性は引き続き大きく、予断を許さない状況で推移しております。

また、化学工業界におきましては、国内景気の回復に伴い、全体的な事業環境は改善傾向が継続いたしました。

このような情勢の下で当社及び子会社は、持続的成長のための安定収益基盤である化成品事業においては、主力のアクリル酸エステル生産性改善による競争力の強化とシェア拡大を図り、高収益性確保のための半導体材料や表示材料の電子材料事業に

においては、海外展開の強化と次世代材料開発に注力し収益改善と業績回復に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は225億5千9百万円（対前年同期比2.6%増）、営業利益は11億8千5百万円（対前年同期比22.7%増）、経常利益は13億6千6百万円（対前年同期比26.4%増）、当期純利益は9億4千6百万円（対前年同期比44.8%増）となりました。

当社の利益配分に関する基本方針は、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに株主の皆様への利益還元を充実させることを経営の重要政策として位置付け、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ配当額を決定することとしております。

当期（平成25年11月期）の配当につきましては、1株当たり10円（第2四半期5円、期末5円）とさせていただきます。また、次期（平成26年11月期）の配当につきましては、業績予想に鑑み1株当たり年間10円（第2四半期5円、期末5円）を予定しております。

本年度第68期（平成26年11月期）におきましては、各種経済政策の効果により企業業績の改善など国内における自律的回復の動きが続くと見込まれます。

しかしながら、海外経済の下振れリスクによる景気減速の懸念もあり、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社及び子会社といたしましては、製品の徹底した品質管理と安全性の確保を第一に、販売の強化と生産コスト及び経費の削減を行い、高度な研究開発力を更に強化し、新規製品開発に取り組んでいくとともに、今後も大阪工場の再整備計画を進め、全社での製品生産体制の合理化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年2月

取締役社長
鎮目 泰昌





中期経営戦略

当社グループは、アクリル酸エステル製品の製造・販売を軸に事業展開をしてまいりました。具体的には、塗料・粘接着剤・印刷インキ・合成樹脂等の原料としてのアクリル酸エステル製品を安定収益基盤とする一方、このアクリル酸エステル製品を発展的に応用展開した液晶関連や半導体材料を中心とする電子材料分野を利益成長事業として強化しております。

当社グループは、これらの事業を基に、企業価値の向上ひいては株主の皆様の共同の利益の向上を実現するために中期事業計画を策定いたしました。かかる中期事業計画においては、経営戦略として「選択と集中による持続的な成長力の構築」、「企業の社会的責任の実現と企業価値の向上」を二本柱に掲げ、当社グループは、この経営戦略に沿い以下のような研究開発・市場開発及び生産体制の強化を行うことにより計画達成を目指すものであります。

①持続的成長のための安定収益基盤事業 (化成品事業)

コア製品であるアクリル酸エステルの市場確保を行うとともに、用途開発と需要の拡大を目指し、生産設

備の効率化によりコスト競争力を強化してまいります。

②安定した高収益性の事業（電子材料事業）

現状製品の市場確保・拡大を行うとともに、フォトリソグラフィ技術を活かした高精細化加工技術への発展的貢献と次世代（表示）材料への応用展開を図ってまいります。

③発展に必要な次期成長分野の開拓と技術基盤を強化する事業（機能化学品事業）

機能性ポリマー化技術・精密有機合成技術及び精製技術の技術基盤を更に拡充し、次期成長分野の開拓を図ってまいります。

以上のような平成26年度の中期事業計画に基づいた、中期の連結業績目標としては、平成28年11月期の売上高241億円、経常利益17億円、ROA（総資産経常利益率）4.9%以上の達成を目指しております。

さらに、「企業の社会的責任の実現と企業価値の向上」を目指しております。その実現のために当社は、社外取締役を選任しているほか、内部統制システムや内部統制委員会でのコンプライアンス及びリスク管理の強化や安全・環境・品質を重視し、ISO-9001、ISO-14001、

OHSASを推進するとともに、株主、顧客、取引先、従業員及び地域社会等のステークホルダーにとって魅力ある企業を目指すことで、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図り、事業強化と適切な利益配分により企業価値の向上を目指してまいります。

今期業績予想

今後の日本経済は、各種経済政策の効果により企業業績の改善など国内における自律的回復の動きが続くと見込まれます。しかしながら、海外経済の下振れリスクによる景気減速の懸念もあり、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

これらを勘案し、今期の業績目標は売上高227億5千6百万円、営業利益10億9千7百万円、経常利益11億8千8百万円、当期純利益7億1千7百万円を予定しております。

設備投資の状況

今期の設備投資といたしましては、今後の事業展開と収益の強化のため、金沢工場の増産対応、大阪工場の移管対応、新規製品開発や生産工程改良の研究設備の充実とインフラ設備の強化を図るための投資計画を進めております。

海外展開の強化

◎上海に当社初の海外現地法人を設立

平成26年1月15日、当社は中国上海市に「光碩^{こうせき}(上海)化工貿易有限公司」を設立いたしました。上海では、平成24年3月に駐在員事務所を設置して、海外の情報を収集しておりましたが、今後さらに海外展開の強化を図るため

に当社初となる現地法人を立ち上げました。

資本金は2億1千万円で、出資比率は当社100%であります。事業内容としては、当社化成品・電子材料・機能化学品事業製品の貿易・販売等であります。

◎中国国際塗料展 (China Coat) に自社ブースを出展

平成25年11月に上海で開催されました中国国際塗料展 (China Coat) に当社のブースを出展いたしました。この展示会は平成8年に始まり今回で18回目となります。出展社数は1,000社を超え、来場者数は開催3日間で2万5千人を数える、世界で最も規模の大きなコーティングに関する展示会であります。

当社の主力アクリル酸エステルである4-HBA、IBXAなどをパネル展示して、600人を超えるブース来場者に紹介し、今後の海外展開の強化につながる活動となりました。



展示会場



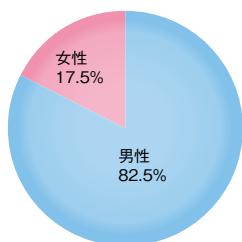
当社ブース

QUESTIONNAIRE 株主アンケート結果のご報告

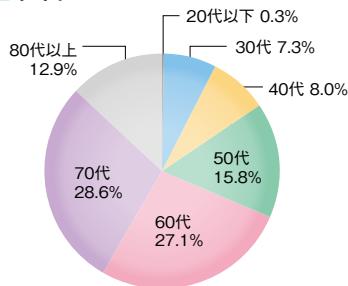
当社では、株主の皆様のご意見・ご要望を今後の経営やIR活動の参考にさせていただくため、平成25年8月の「第67期 中間事業報告」に同封してアンケート調査をさせていただきました。

その結果、全株主の10.7%にあたる415名の皆様からご回答をいただきました。貴重なご意見を多数いただきました。厚く御礼申し上げます。アンケートの集計結果につきまして、その一部をご報告いたします。

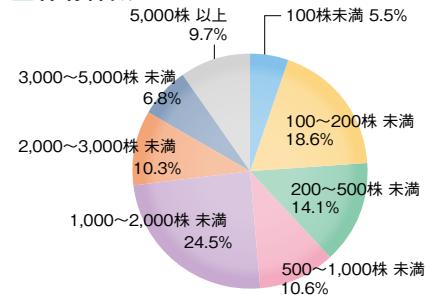
■ 性別



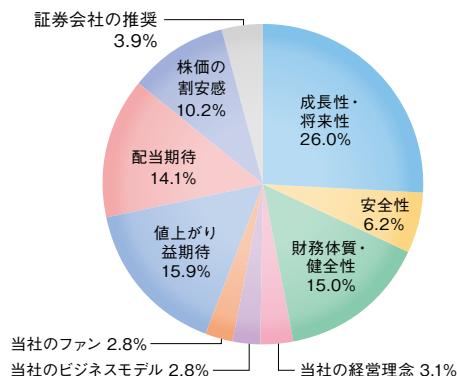
■ 世代



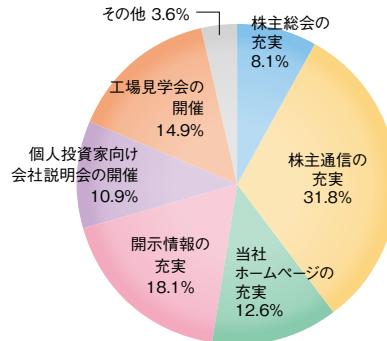
■ 保有株数



■ 当社株式を購入された理由(複数回答)

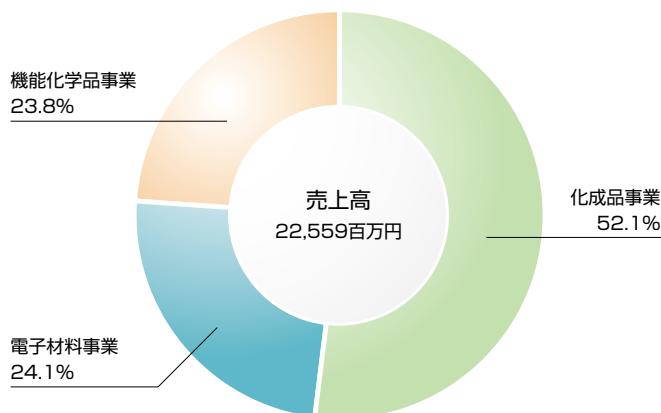


■ 今後の当社のIR活動について期待されること(複数回答)



今回のアンケートで皆様からいただきましたご意見・ご要望を、今後のさらなる企業価値の向上に活かすために取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結



連結経営成績

化成品事業

主要商品: ● 自動車塗料・建築材料等塗料 ● 光ファイバー被覆剤 ● 下水処理剤 ● 紙力増強剤 ● アクリル酸

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料樹脂関連や光学フィルム用原料などの販売が堅調に推移し売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、塗料・粘接着剤向けの輸出が好調に推移いたしました。しかしながら、設備投資による償却負担の増加のため、セグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は117億4千3百万円(対前年同期比3.4%増)、セグメント利益は2億6千3百万円(対前年同期比24.2%減)となりました。

電子材料事業

主要商品: ● 液晶用材料 ● 半導体材料

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶パネル関連業界の需要が回復したことと、海外向けの拡販により、売上高は増加いたしました。半導体材料グループは、販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、売上高の増加によりセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は54億4千8百万円(対前年同期比8.7%増)、セグメント利益は8億3千9百万円(対前年同期比83.5%増)となりました。

機能化学品事業

主要商品: ● 化粧品原料 ● 医薬中間体 ● 溶剤、その他

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、好調な海外販売に支えられ売上高は増加いたしました。機能材料グループ(医薬中間体、その他)は、一部の受託製品の販売が低調に推移し売上高は減少いたしました。また、売上高の減少によりセグメント利益は大幅に減少いたしました。この結果、売上高は54億3千1百万円(対前年同期比4.1%減)、セグメント利益は9千万円(対前年同期比39.0%減)となりました。



自動車塗料



ヘアースタyling剤

● 化成事業

アクリル酸エステル
メタクリル酸エステル
アクリル酸

塗料、粘接着剤
インキ用樹脂原料



インキ・粘接着剤

● 機能化学品事業

化粧品基材
医薬中間体
その他



医薬中間体



● 電子材料事業

表示関連材料
半導体関連材料



液晶テレビ



半導体

連結貸借対照表

連結貸借対照表

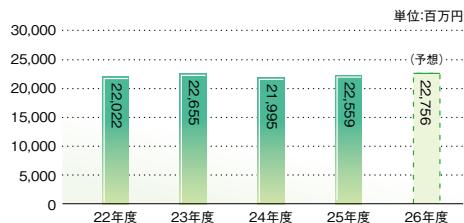
(単位：百万円)

科 目	当 期 25.11.30現在	前 期 24.11.30現在
(資産の部)		
流 動 資 産		
現金及び預金	4,377	3,416
受取手形及び売掛金	7,081	6,218
有価証券	-	799
製 品	2,329	1,820
仕掛品	846	839
原材料及び貯蔵品	761	655
繰延税金資産	151	124
その他	93	248
貸倒引当金	△ 9	△ 8
流動資産合計	15,632	14,114
固 定 資 産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,113	5,014
機械装置及び運搬具	2,052	2,756
土 地	2,290	2,233
建設仮勘定	244	256
その他	287	276
有形固定資産合計	9,988	10,536
無形固定資産		
投資その他の資産	213	275
投資その他の資産		
投資有価証券	4,872	3,326
長期預金	-	200
保険積立金	261	249
その他	347	148
投資その他の資産合計	5,480	3,924
固定資産合計	15,683	14,736
資 産 合 計	31,315	28,850

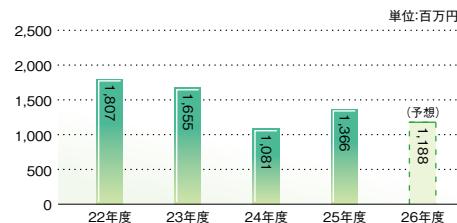
科 目	当 期 25.11.30現在	前 期 24.11.30現在
(負債の部)		
流 動 負 債		
支払手形及び買掛金	4,238	3,200
短 期 借 入 金	10	30
1年内返済予定の長期借入金	270	698
1年内償還予定の社債	110	160
未 払 金	883	806
未払法人税等	282	67
役員賞与引当金	33	32
その他	570	422
流動負債合計	6,399	5,417
固 定 負 債		
社 債	30	140
長期借入金	205	425
繰越税金負債	391	35
役員退職慰労引当金	510	484
固定資産除去損失引当金	280	280
その他	250	304
固定負債合計	1,667	1,670
負 債 合 計	8,066	7,087
(純資産の部)		
株 主 資 本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	3,680	3,680
利益剰余金	14,744	14,027
自己株式	△ 3	△ 3
株主資本合計	22,022	21,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,012	253
その他の包括利益累計額合計	1,012	253
少数株主持分	214	205
純資産合計	23,248	21,763
負債及び純資産合計	31,315	28,850

業績の推移

売上高



経常利益



連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結株主資本等変動計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	24.12.1から25.11.30まで	23.12.1から24.11.30まで
売上	22,559	21,995
売上原価	18,041	17,718
売上総利益	4,518	4,276
営業費用	3,333	3,310
営業利益	1,185	965
営業外収益	195	153
営業外費用	14	38
経常利益	1,366	1,081
特別損失	-	82
税金等調整前当期純利益	7	59
法人税、住民税及び社会保険料調整前当期純利益	1,359	1,104
法人税等調整前当期純利益	415	292
少数株主に係る包括利益	△ 12	138
少数株主に係る包括利益	956	674
当期純利益	9	20
当期純利益	946	653

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	24.12.1から25.11.30まで	23.12.1から24.11.30まで
少数株主損益調整前当期純利益	956	674
その他の包括利益	761	120
包括利益	1,717	794
親会社株主に係る包括利益	1,706	773
少数株主に係る包括利益	11	21

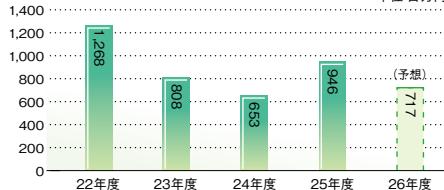
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	24.12.1から25.11.30まで	23.12.1から24.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,596	1,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 774	△ 1,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,154	△ 1,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	666	△ 1,598
現金及び現金同等物の期首残高	3,080	4,678
現金及び現金同等物の期末残高	3,747	3,080

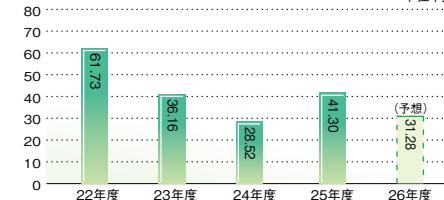
当期純利益

単位:百万円



1株当たり当期純利益

単位:円



連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	24.12.1から25.11.30まで	23.12.1から24.11.30まで
株主資本		
資本金		
当期首残高		3,600
当期変動額	3,600	3,600
当期変動額合計	-	-
当期末残高	3,600	3,600
資本剰余金		
当期首残高		3,680
当期変動額	3,680	3,680
当期変動額合計	-	-
当期末残高	3,680	3,680
利益剰余金		
当期首残高		14,027
当期変動額	14,027	13,648
剰余金の配当	△ 229	△ 275
当期純利益	946	653
当期変動額合計	717	378
当期末残高	14,744	14,027
自己株式		
当期首残高		△ 3
当期変動額	△ 3	△ 0
自己株式の取得	△ 0	△ 0
当期変動額合計	△ 3	△ 3
当期末残高	△ 3	△ 3
株主資本合計		
当期首残高	21,304	20,925
当期変動額	△ 229	△ 275
剰余金の配当	946	653
自己株式の取得	△ 0	△ 0
当期変動額合計	717	378
当期末残高	22,022	21,304
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	253	134
当期変動額	759	119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	759	119
当期変動額合計	1,012	253
当期末残高	1,012	253
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	253	134
当期変動額	759	119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	759	119
当期変動額合計	759	119
当期末残高	1,012	253
少数株主持分		
当期首残高	205	185
当期変動額	8	19
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8	19
当期変動額合計	214	205
当期末残高	214	205
純資産合計		
当期首残高	21,763	21,245
当期変動額	△ 229	△ 275
剰余金の配当	946	653
自己株式の取得	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	768	138
当期変動額合計	1,485	517
当期末残高	23,248	21,763

(各記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

個別貸借対照表

貸借対照表

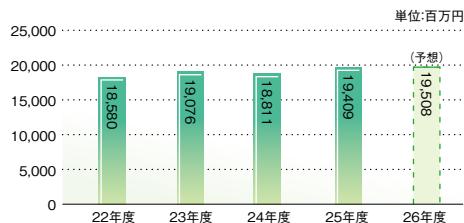
(単位:百万円)

科目	当期 25.11.30現在	前期 24.11.30現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	4,320	3,191
受取手形	551	614
売掛金	5,819	5,015
有価証券	-	799
製品	2,085	1,617
仕掛品	818	816
原材料及び貯蔵品	742	604
短期貸付金	-	0
繰延税金資産	149	124
その他	87	241
貸倒引当金	△ 6	△ 5
流動資産合計	14,570	13,021
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,145	3,928
構築物	710	815
機械装置	1,797	2,435
車両運搬具	13	12
工具器具備品	219	214
土地	2,172	2,115
リース資産	60	53
建設仮勘定	244	254
有形固定資産合計	9,363	9,829
無形固定資産		
ソフトウェア	5	5
リース資産	208	269
無形固定資産合計	213	275
投資その他の資産		
投資有価証券	4,806	3,272
関係会社株式	233	233
長期預金	-	200
長期前払費用	78	4
保険積立金	256	245
その他	239	125
投資その他の資産合計	5,614	4,081
固定資産合計	15,192	14,185
資産合計	29,762	27,206

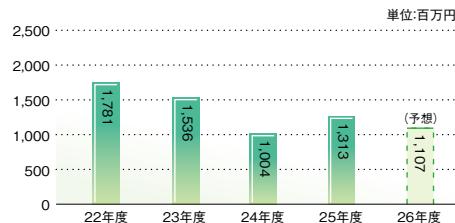
科目	当期 25.11.30現在	前期 24.11.30現在
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	3,845	2,893
短期借入金	10	30
1年内返済予定長期借入金	198	438
1年内償還予定社債	50	100
リース債務	89	84
未払金	805	754
未払費用	158	157
未払法人税等	262	67
預り金	163	132
役員賞与引当金	28	27
その他	114	9
流動負債合計	5,727	4,694
固定負債		
社債	-	50
長期借入金	-	198
リース債務	171	232
繰延税金負債	371	23
役員退職慰労引当金	487	462
固定資産除去損失引当金	280	280
資産除去債務	77	71
その他	-	0
固定負債合計	1,389	1,318
負債合計	7,116	6,013
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	3,680	3,680
利益剰余金	14,370	13,672
自己株式	△ 3	△ 3
株主資本合計	21,648	20,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	997	243
評価・換算差額等合計	997	243
純資産合計	22,645	21,193
負債純資産合計	29,762	27,206

業績の推移

売上高



経常利益





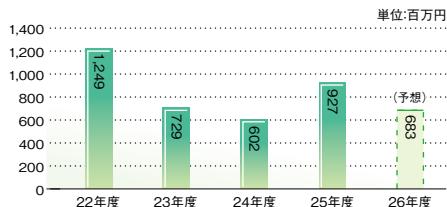
個別損益計算書、 株主資本等変動計算書

損益計算書

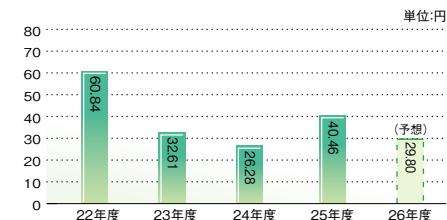
(単位：百万円)

科目	当期	前期
	24.12.1より 25.11.30まで	23.12.1より 24.11.30まで
売上高	19,409	18,811
売上原価	15,164	14,820
売上総利益	4,244	3,990
販売費及び一般管理費	3,117	3,111
営業利益	1,127	878
営業外収益	194	154
営業外費用	8	29
経常利益	1,313	1,004
特別利益	-	82
特別損失	4	58
税引前当期純利益	1,308	1,028
法人税、住民税及び事業税	396	291
法人税等調整額	△ 14	134
法人税等合計	381	425
当期純利益	927	602

当期純利益



1株当たり 当期純利益



株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	24.12.1より 25.11.30まで	23.12.1より 24.11.30まで
株主資本		
資本金		
当期首残高	3,600	3,600
事業年度中の変動額	-	-
事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	3,600	3,600
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	3,477	3,477
事業年度中の変動額	-	-
事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	3,477	3,477
その他資本剰余金		
当期首残高	203	203
事業年度中の変動額	-	-
事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	203	203
資本剰余金合計	3,680	3,680
事業年度中の変動額	-	-
事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	3,680	3,680
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	505	505
事業年度中の変動額	-	-
当期末残高	505	505
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	7,610	7,610
事業年度中の変動額	-	-
当期末残高	7,610	7,610
繰越利益剰余金	5,556	5,229
当期首残高	5,556	5,229
事業年度中の変動額	-	-
剰余金の配当	△ 229	△ 275
当期純利益	927	602
事業年度中の変動額合計	698	327
当期末残高	6,254	5,556
利益剰余金合計	13,672	13,345
当期首残高	13,672	13,345
事業年度中の変動額	-	-
剰余金の配当	△ 229	△ 275
当期純利益	927	602
事業年度中の変動額合計	698	327
当期末残高	14,370	13,672
自己株式		
当期首残高	△ 3	△ 3
事業年度中の変動額	-	-
自己株式の取得	△ 0	△ 0
事業年度中の変動額合計	△ 0	△ 0
当期末残高	△ 3	△ 3
株主資本合計	20,949	20,622
当期首残高	20,949	20,622
事業年度中の変動額	-	-
剰余金の配当	△ 229	△ 275
当期純利益	927	602
自己株式の取得	△ 0	△ 0
事業年度中の変動額合計	698	327
当期末残高	21,648	20,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	243	127
事業年度中の変動額	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	753	116
事業年度中の変動額合計	753	116
当期末残高	997	243
評価・換算差額等合計	243	127
当期首残高	243	127
事業年度中の変動額	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	753	116
事業年度中の変動額合計	753	116
当期末残高	997	243
純資産合計	21,193	20,749
当期首残高	21,193	20,749
事業年度中の変動額	-	-
剰余金の配当	△ 229	△ 275
当期純利益	927	602
自己株式の取得	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	753	116
事業年度中の変動額合計	1,452	443
当期末残高	22,645	21,193

(各記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

会社概要

● 会社概要 (平成25年11月30日現在)

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	昭和21年12月21日
資本金	3,600,295,546円
発行済株式総数	22,937,038株
株主数	3,920名
従業員数	373名
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売



本社



東京オフィス

● 本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号 TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号 TEL.03(6202)7051
大阪工場	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
八千代事業所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271

● 子会社

会社名	神港有機化学工業株式会社
住所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26
資本金	55,000千円
従業員数	37名
事業内容	酢酸エステルの製造販売



株式の状況

役員および理事 (平成26年2月21日現在)

取締役社長	鎮目 泰昌
常務取締役	上林 泰二
常務取締役	林 優司
取締役	白築 良
取締役	鎮目 清明
取締役	松永 光正
取締役	永松 茂治
取締役	安藤 昌幸
取締役	国宝 栄子
社外取締役	安原 徹
専務理事	相原 福雄
常務理事	山田 光信
理事役	岡本 博
理事役	野口 英志
理事役	吉田 和義
理事役	大引 明
常勤監査役	伊田 忠夫
社外監査役	吉村 勲
社外監査役	檜山 洋子

会計監査人 (平成26年2月21日現在)

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (平成25年11月30日現在)

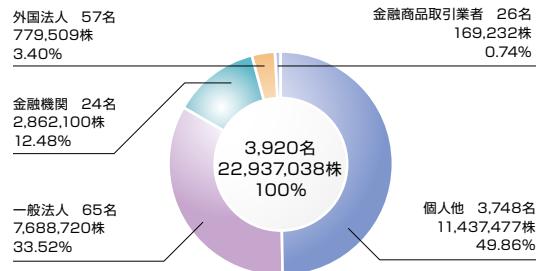
発行可能株式総数	76,000,000株
発行済株式総数	22,937,038株
株主数	3,920名

大株主

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
WesternRedCedar株式会社	1,080千株	4.71%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	952	4.15
三菱レイヨン株式会社	928	4.04
株式会社カネカ	700	3.05
鎮目泰昌	686	2.99
大阪有機化学従業員持株会	675	2.94
鎮目歳子	638	2.78
安川義孝	601	2.62
株式会社日本触媒	596	2.60
東亜合成株式会社	521	2.27

(注) ※出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(22,927,504株)を基準に算出するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式構成



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 http://www.ooc.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所 単元株式数	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 100株 (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問合せください。
特別口座から一般口座への振替請求	
単元未満株式の買取（買増）請求	
住所・氏名等のご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



ホームページアドレス <http://www.ooc.co.jp/>